

「令和8年度 環境局広報啓発強化業務委託」 評価表

評価項目	評価の視点	配点		
1 全体評価及び効果の検証	基本方針	・本業務の目的や趣旨を十分理解し、実施方法が具体的で実現可能な提案となっているか	15	30
	運営体制	・提案内容を確実に実施できる体制が確立されているか ・現実的かつ適切なスケジュールとなっているか	5	
	効果・分析	・本業務について、適切なKPIが設定され、広報実施による具体的な行動変容が期待できるか	10	
2 行動変容を促す広報啓発の実施	①6月環境月間のPR	・幅広い層に効果的に届く発信内容となっているか。 ・月間を契機として環境への理解が深まる提案となっているか。 ・月間イベントへの参加者増加が期待できる内容か。	10	60
	②リチウムイオン電池を含む家電の処分に係る危険性の啓発	・リチウムイオン電池に起因する火災・事故リスクを的確に伝え、危険性理解を促進する内容となっているか。 ・市の回収拠点への持ち込み増加が見込まれる構成か。	10	
	③リユース機運の醸成等	・リユースの具体的な選択肢や意義を分かりやすく提示し、理解・共感を促す内容となっているか ・日常生活におけるリユース行動の増加が期待できるか	10	
	④自然との共生、生物多様性の回復の自分ごと化	・生物多様性の重要性や身近な自然との関わりを分かりやすく伝え、理解向上につながる内容となっているか。 ・コンテンツの魅力や参加意義が示されており、市民の参加意欲を高め、応募増加が期待できる構成となっているか。	10	
	⑤フードドライブキャンペーンの促進	・フードドライブの意義や参加方法が分かりやすく示され、市民の参加意欲を高める内容となっているか。 ・食品ロス削減月間を契機として、フードドライブへの関心向上につながる内容となっているか。	10	
	⑥福岡市の環境の強みPR	・福岡市の環境施策や取組の独自性が的確に示され、市民がその強みを理解できる内容となっているか。 ・多様な市民層に効果的に情報が届く発信方法が採用されており、高い到達性が期待できる構成となっているか。	10	
3 その他	費用対効果	・必要な項目が漏れなく含まれているか。 ・企画提案内容の費用対効果は妥当か	5	10
	実績	・本業務を遂行するために必要な知識・専門性を有しているか ・事業実施にあたっての類似の実績やノウハウの有無	5	
4 加点項目	追加提案	・事業目的の達成に資する追加提案がなされているか	5	5
			計	105